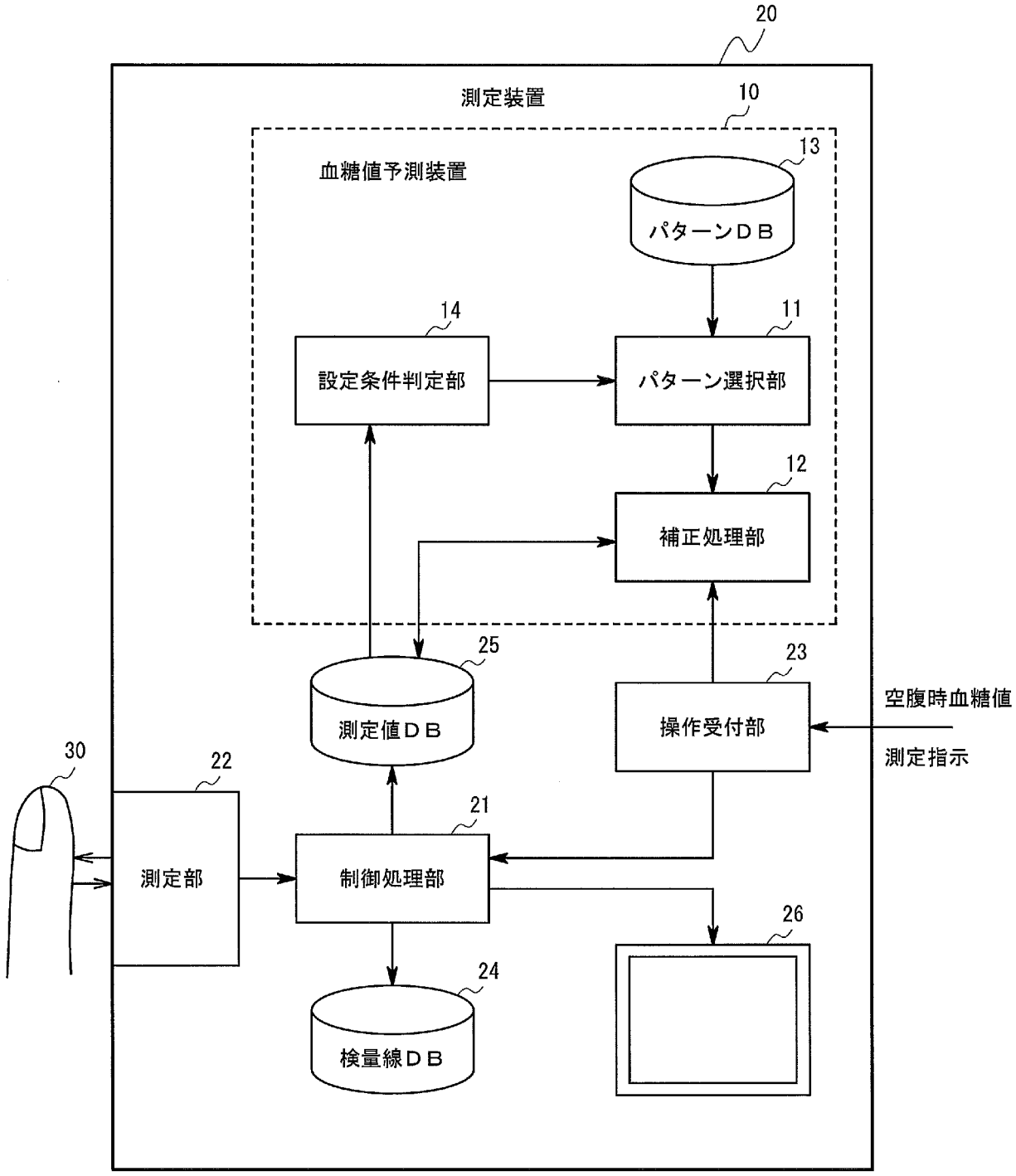
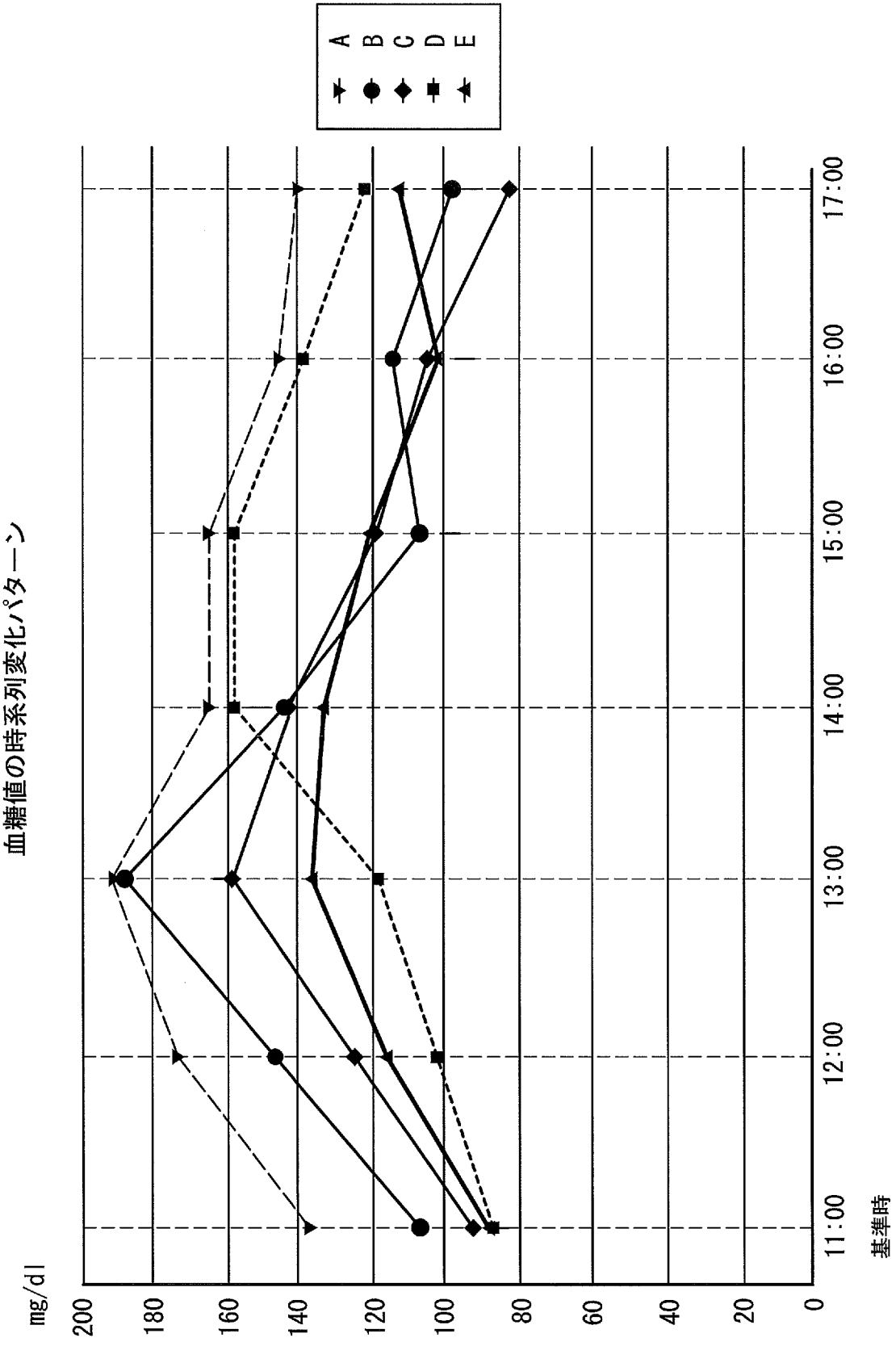
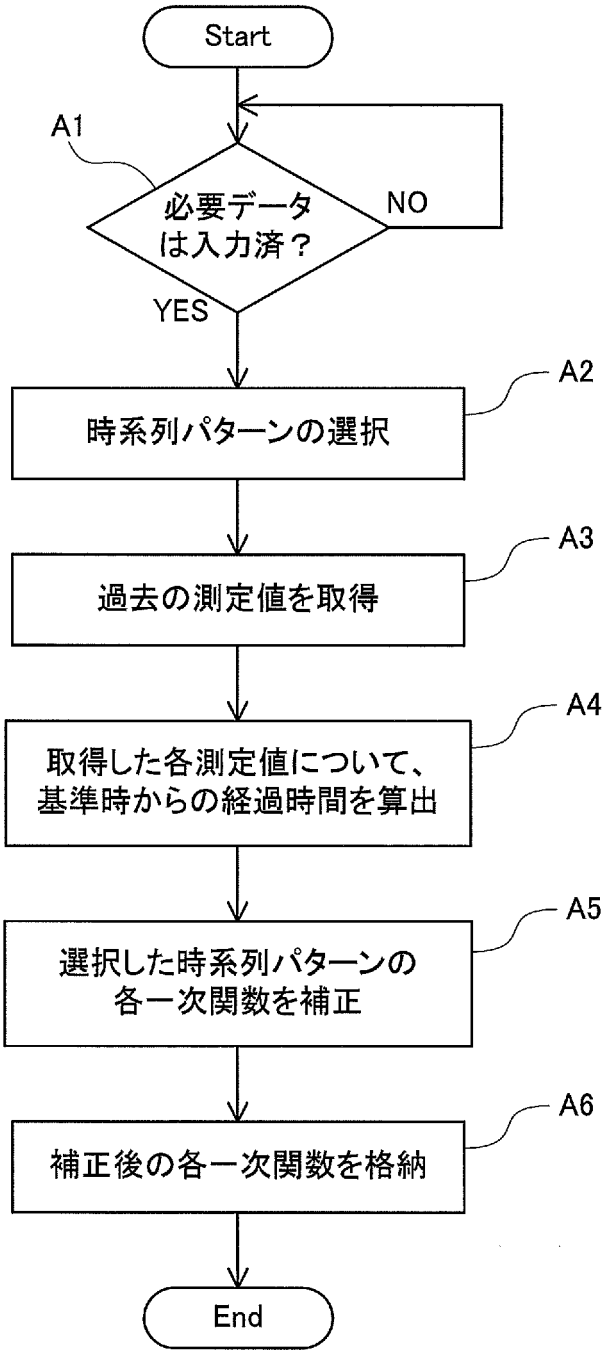
[図1]


20
測定装置
10
血糖値予測装置
13
パターンＤＢ
14
設定条件判定部
11
パターン選択部
12
補正処理部
25
測定値ＤＢ
23
操作受付部
空腹時血糖値
測定指示
30
22
測定部
21
制御処理部
26
24
検量線ＤＢ

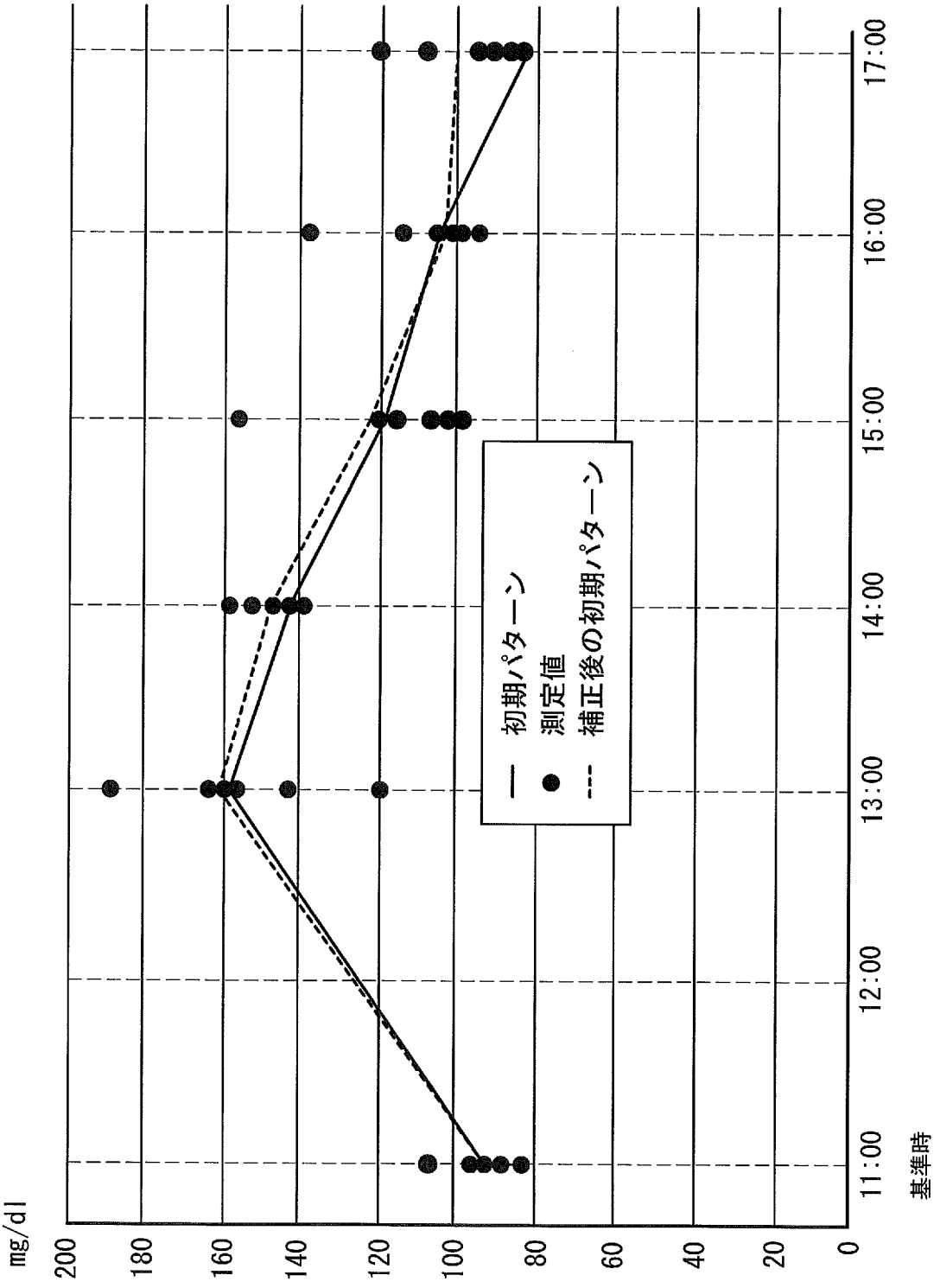
[図2]


血糖値の時系列変化パターン
mg/dl
200
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
基準時
A
B
C
D
E

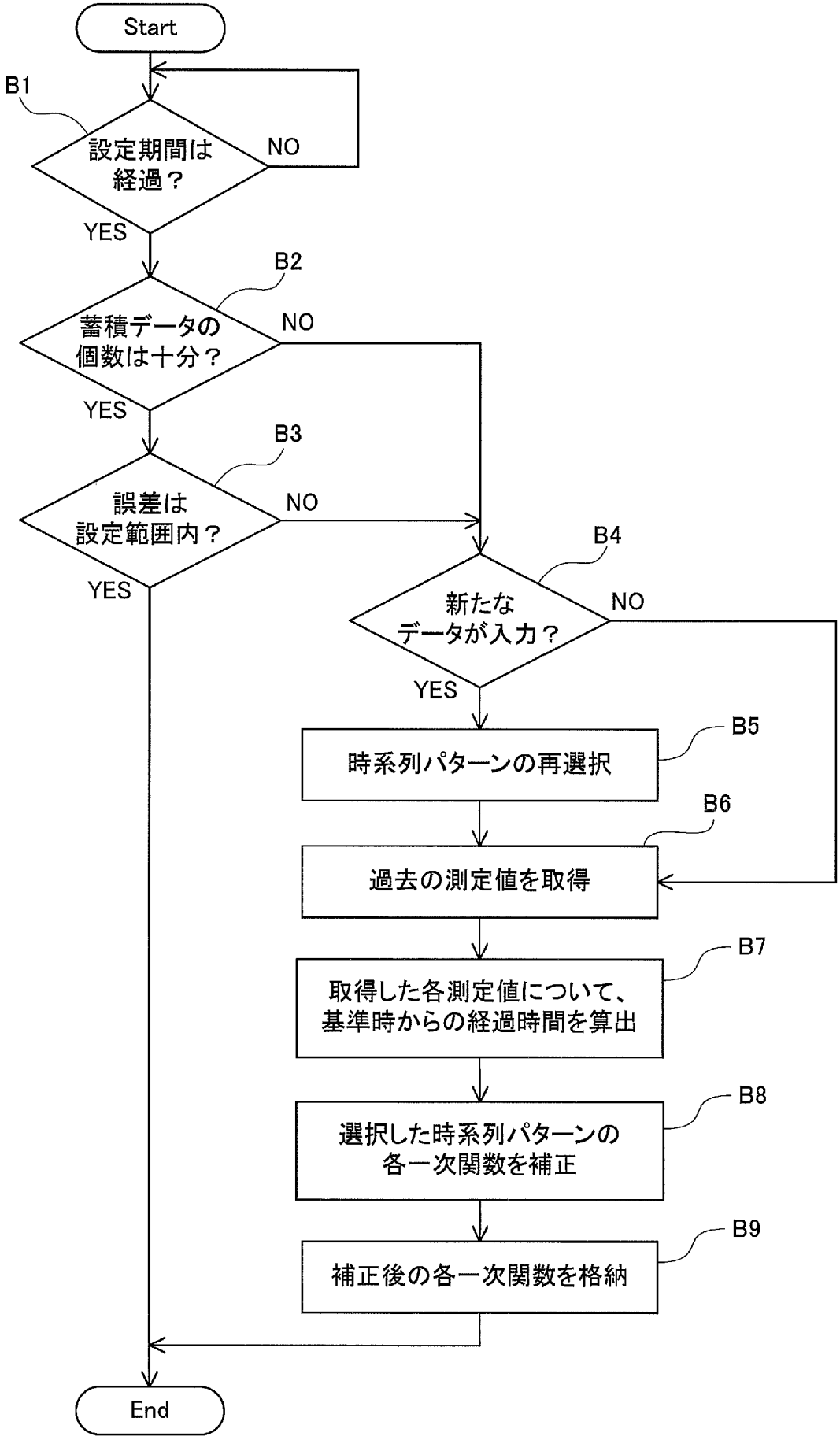
[図3]


Start
A1
必要データ
は入力済？
NO
YES
A2
時系列パターンの選択
A3
過去の測定値を取得
A4
取得した各測定値について、
基準時からの経過時間を算出
A5
選択した時系列パターンの
各一次関数を補正
A6
補正後の各一次関数を格納
End

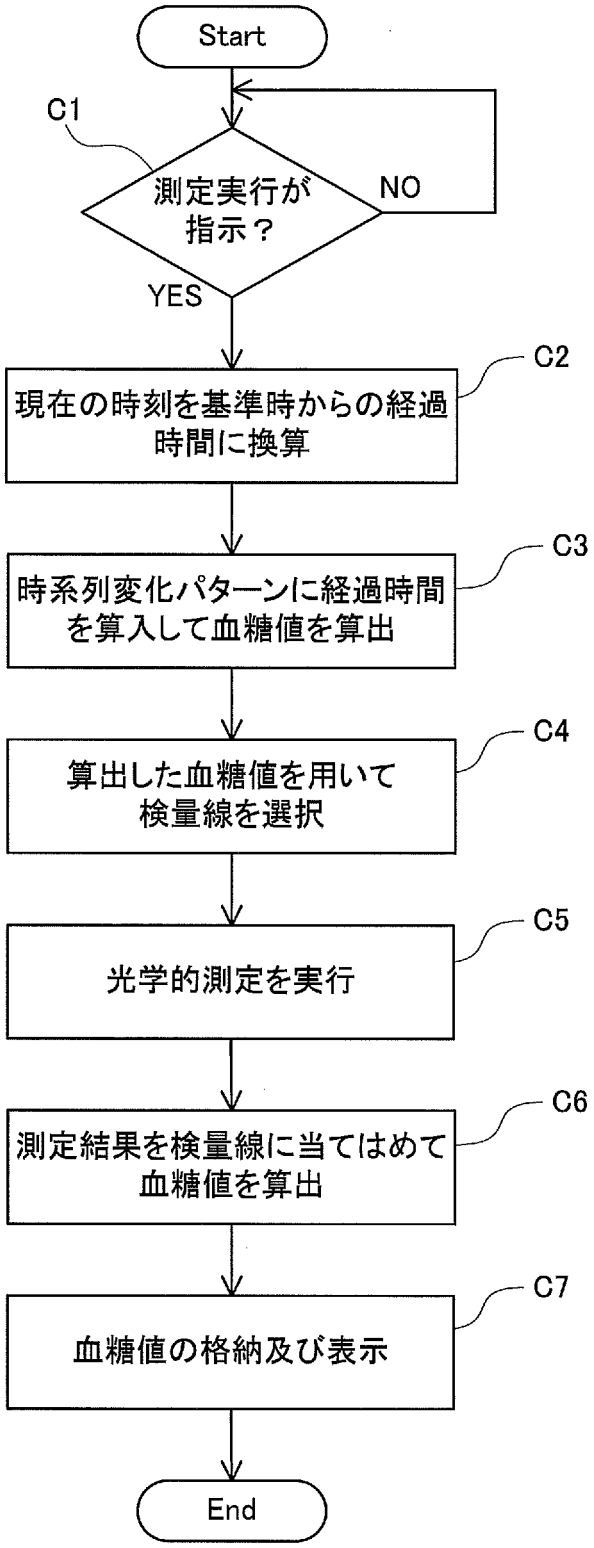
[図4]


mg/dl
200
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
基準時
初期パターン
測定値
補正後の初期パターン

[図5]


Start
B1
設定期間は経過？
NO
YES
B2
蓄積データの個数は十分？
NO
YES
B3
誤差は設定範囲内？
NO
YES
B4
新たなデータが入力？
NO
YES
B5
時系列パターンの再選択
B6
過去の測定値を取得
B7
取得した各測定値について、基準時からの経過時間を算出
B8
選択した時系列パターンの各一次関数を補正
B9
補正後の各一次関数を格納
End

[図6]


Start
C1
測定実行が指示？
NO
YES
C2
現在の時刻を基準時からの経過時間に換算
C3
時系列変化パターンに経過時間を算入して血糖値を算出
C4
算出した血糖値を用いて検量線を選択
C5
光学的測定を実行
C6
測定結果を検量線に当てはめて血糖値を算出
C7
血糖値の格納及び表示
End